

被災者支援の一助に

ミャンマー大地震1カ月
浜坂高生徒会が募金寄託

町国際交流協会

ミャンマーを襲った大地
震の発災から1カ月になる
28日、浜坂高（新温泉町芦屋）の生徒会は被災者支援



寄せられた募金を町国際交流協会に寄託
した生徒会のメンバーら＝28日、新温泉
町芦屋の浜坂高

のため、生徒や教職員から寄せられた募金を、町国際交流協会に寄託した。ミャンマーとの独自ルートで支援活動を続けている同町の子どもNGO「懐」を通じて、現地の被災者に直接届けられる。（2面参照）

生徒会長の浜本七瀬さん（3年）ら生徒会メンバーが、校内で集めた2万3346円を同協会役員の中村勝明さんに手渡した。

浜本さんは「みんなが積極的に募金してくれた。想

像以上に協力的だった」と活動を実感。受け取った中村さんは「生徒たちの温かい気持ちを伝えることができた」と感謝を伝えた。

現地はこれから雨期を迎える。中村さんは「被災者は国外からの支援がなくなってしまうのではと心配している」として、同高に5月末まで募金箱の設置を依頼した。

（岡村博）